

♪ ようこそ!吉野熊野国立公園へ♪

11月前半に宇久井半島で見られるなかまたち!



☆「テリハノイバラ バラ科」☆

偽果は卵形で赤く熟す。葉は奇数羽状複葉で互生。托葉には鋸齒があり、先端は腺になる。



☆「オガタマノキ モクレン科」☆

袋果はぶどうの房状に集まる。各袋果は熟すと割れ、中の種子は橙色の仮種皮に包まれている。



☆「タンキリマメ マメ科」☆

つる性植物。豆果は熟すと赤くなって裂開する。中には黒く光沢のある種子が2つ入っている。



☆「クヌギ ブナ科」☆

堅果は球形で、径2cm前後。殻斗はお椀型で、鱗片は細長い。果実は翌年の10月頃に熟す。



☆「サネカズラ マツブサ科」☆

雌雄異株だが、まれに雄花と雌花両方をつける。液果の集合果は径2~3cmの球形。10~11月頃に赤く熟す。



☆「ヘクソカズラ アカネ科」☆

核果は径5mmの球形。熟すと黄褐色。中には2個の核があり、それぞれ種子が1個入っている。



☆「ナワシログミ グミ科」☆

葉腋に花を数個つける。花弁は無い。花弁のような白い部分は「がく筒」で、先端が四裂する。



☆「ノコンギク キク科」☆

山野のいたるところに普通な多年草。地下茎をのばして群落をつくる。舌状花は淡い紫~白色。



☆「ヤブラン ユリ科」☆

種子の直径6~7mmで熟すと黒色。果皮が薄く脱落しやすいため、種子が剥き出しになって成熟する。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ!宇久井ビジターセンターへ!日中も涼しい時間が増えて、心地よい気候です。お散歩と観察を楽しみましょう♪

※ごみは持ち帰りましょう!
※畑に無断で入らないようにしましょう!
※植物や生き物を大切にしましょう!

2026年11月前半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

千尋の浜

(上地の浜)

松尾展望広場

外の取

フェリーターミナル方面
通行できません

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

上野展望台
防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ヒサカキ

シロダモ

トベラ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチツツジ

タフノキ

木ノすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ

竹林

シロダモ

ホルトノキ

木のすき間から海が見えます。

至休暇村

ヤブツバキ

ヤマモモ

ヘラシダ

モチノキ

ハセノキ
(メジロがよく食べに来ます)

マルバウツギ

ビジターセンター

至 R42



凡例

- P 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段